



令和元(2019)年度

水稻の生育概況 vol.1



埼玉県マスコット
「コバトン」

(令和元(2019)年6月1日現在)
埼玉県農業技術研究センター

要 約

- ◎気象概況：4月は平均気温、降水量は平年並みで、日照時間は多かった。
5月は平均気温はかなり高く、降水量は平年並み、日照時間はかなり多かった。
- ◎生育状況：草丈、莖数とも平年に比べやや下回っているが、葉位の展開は進んでおり、生育は順調である。
- ◎今後取るべき技術対策
 - ・育 苗：トンネル等の温度管理に注意。苗の老化が見られる場合は追肥を実施。
 - ・水 管 理：浅水管理で分けつの発生を促し、有効莖が確保できたら早めに中干しを実施。
 - ・病虫害防除：ヒメトビウンカ（イネ縞葉枯病）に留意し、その他の病虫害も考慮し薬剤防除に努める。

1 気象の概況

4月の平均気温は、第4、5半旬を除いて平年より低く、月平均では平年並みであった。降水量は、第2、6半旬にまとまった降雨があったが、月合計では平年の85%であった。日照時間は、第6半旬で平年より少なかったが、他は平年並みから多照であり、月合計では平年の118%であった。

5月の気温は全半旬で平年を上回り、月平均では平年より2.1℃高かった。降水量は第5半旬にまとまった降雨があったが、他の期間は少なく、月合計では平年の77%となった。日照時間は全半旬で平年より多く、月合計では平年の137%であった。また、平年よりも気温の日較差が大きい日が多かった。

2 生育の概況

(1) センター内生育相

ア 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

育苗期間はやや低温かつ多照で経過したため、充実度は高いものの草丈が低い苗となった。

移植時は強風等による植え傷みは見られなかったが、苗の草丈が低いいため全体的に浅植えとなった。そのため、除草剤により若干の薬害が発生した。移植後30日時点では草丈、莖数ともに平年をやや下回っている。葉位の進

展は平年よりわずかに早い。

イ 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

育苗期間は平年に比べてやや高温で経過したものの、多照であったため苗の徒長は見られず、充実度の高い良苗が得られた。

移植時は強風等による植え傷みもなく、活着は良好で、生育は順調である。

（2）県内全般

早期・早植栽培とも田植作業は好天に恵まれ平年同様順調に進捗し、活着は良好で初期生育は順調である。

3 今後の生育予測

（1）気象予測

気象庁が6月6日に発表した1か月予報では、6月の天候は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。平均気温は高い確率が30%、降水量は平年並が30%、多い確率が40%、日照時間は平年並または少ない確率ともに40%である。

また、5月24日発表の3か月予報では、7月の天候は前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いと見込み。降水量は平年並または多い確率ともに40%である。

8月の天候も前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ない見込み。気温は、ほぼ平年並みの見込み、降水量は平年並みか多い見込み。

（2）生育予測

ア 早期、早植栽培

向こう1か月の日照時間は平年並または少ないと予想され軟弱気味の生育が懸念されるが、気温は平年並みと見込まれていることから、生育は概ね順調に推移すると見込まれる。

イ 普通栽培

小麦の収穫作業が降雨により停滞気味であるが、気温は平年並みまたは低いと予想され、苗の成長も急激な徒長や老化の懸念は低いと思われる。

また、向こう1か月の日照時間は平年並または少なく、降水量は平年並が30%、多い確率が40%と見込まれ田植え後の軟弱気味の生育が懸念されるが、生育は概ね順調に推移すると見込まれる。

4 今後取るべき技術対策

（1）早期、早植栽培

ア 施肥

葉色を判断しながら生育に応じて適宜追肥を行う。

イ 病虫害防除

4月23日発表の病害虫発生予察注意報第1号（イネ縞葉枯病）のとおりイネ縞葉枯病を媒介するヒメトビウンカに注意を払う。ヒメトビウンカに効果の高い苗箱施用剤が施用されていない場合、イネ縞葉枯病の後期感染を防ぐためにもヒメトビウンカの発生が見られたら直ちに本田防除を行う。

ウ 水管理

有効茎が確保できたら小ひびが入る程度に中干しを実施する。

エ 雑草防除

雑草が多発したほ場は、草種等に応じた除草剤（中期、後期剤）を選択し、適期散布を行う。

(2) 普通栽培

ア 育苗

苗代の温度管理に注意し、晴天時には必ず換気を行う。原則として追肥は行わないが、移植の遅れ等により肥切れが見られた場合は落水して、箱当たり0.5g（N成分）の硫安等を500mlの水に溶かして施用する。葉についた肥料を清水で洗い流す。

イ 病害虫防除

キヌヒカリ等のイネ縞葉枯病感受性品種では必ずヒメトビウンカに効果の高い苗箱施用剤を施用する。

前年、いもち病の発生が多かった地域では、育苗時から予防的防除を基本に計画的な防除を心がける。

ウ 雑草防除

気温が高い時期になり雑草の生育が早まるため、田植え後雑草の葉齢を見ながら適期に適剤の散布を行う。

「イネ縞葉枯病防除マニュアル」について

イネの重要病害であるイネ縞葉枯病の防除技術を開発するため、農技研では農研機構や他県と共同研究を行い、県内向けに「イネ縞葉枯病の防除マニュアル（埼玉県版）」を作成しました。また、農研機構では、共同研究全体の研究成果をまとめた「イネ縞葉枯病の総合防除マニュアル」をホームページで公開しています。

◎イネ縞葉枯病の防除マニュアル（埼玉県版 PDF版）

<http://www.pref.saitama.lg.jp/b0909/documents/ine-shimahagare-manyuaru.pdf>

◎イネ縞葉枯病の総合防除マニュアル（農研機構 Web版）

https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/rsv_web/manual/start

解析・考察に用いた具体的数字

1 気象表（熊谷気象台日別測定値から集計）

4月											
半 旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	9.6	11.0	17.1	16.7	2.5	5.9	2.5	15.4	53.1	31.4	
2	10.7	12.2	16.0	18.0	5.8	7.0	21.5	17.1	30.1	31.2	
3	11.9	13.2	17.8	19.0	5.8	8.1	1.0	16.9	40.5	30.3	
4	16.0	14.1	22.9	20.0	9.9	9.0	0.5	16.0	46.2	30.3	
5	18.9	15.0	24.5	21.0	14.3	9.8	9.5	14.8	31.1	31.4	
6	13.1	15.9	19.0	22.0	9.0	10.6	44.0	12.6	24.1	32.3	
平均	13.4	13.6	19.6	19.5	7.9	8.4	合計	79.0	92.9	225.1	190.2

5月											
半 旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	18.5	16.8	25.7	22.7	12.0	11.6	8.0	11.9	45.0	31.2	
2	17.6	17.4	24.4	23.2	10.9	12.5	0.0	14.6	42.0	29.2	
3	19.1	17.8	24.9	23.4	14.5	13.0	0.0	18.3	36.9	28.1	
4	20.6	18.3	27.0	23.9	15.3	13.5	5.0	20.9	36.8	29.0	
5	21.7	19.0	28.3	24.7	15.6	14.2	72.0	20.8	45.8	30.4	
6	23.7	19.9	30.3	25.4	17.9	15.1	1.0	21.9	42.0	36.6	
平均	20.3	18.2	26.9	23.9	14.5	13.4	合計	86.0	111.8	248.5	182.0

注) 半旬数値は熊谷地方気象台日別測定値から集計。ただし、月平均・合計は気象台値。

2 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

(1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
9.1	12.9	70	2.2	2.1	0.1	1.23	1.30	94	1.35	1.01	0.34

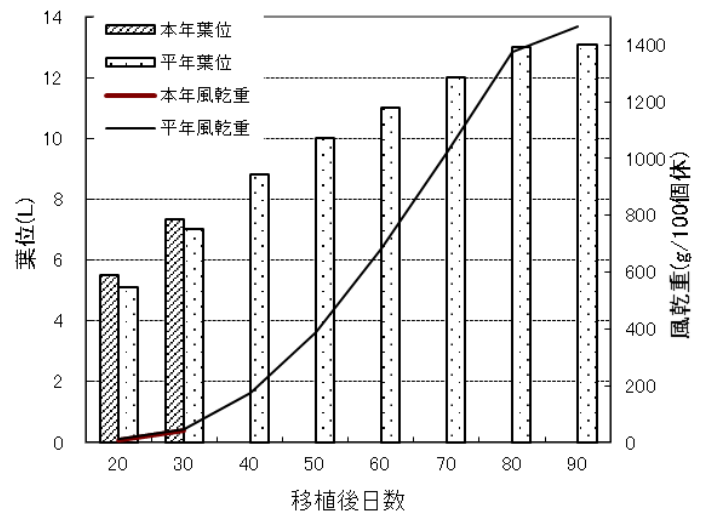
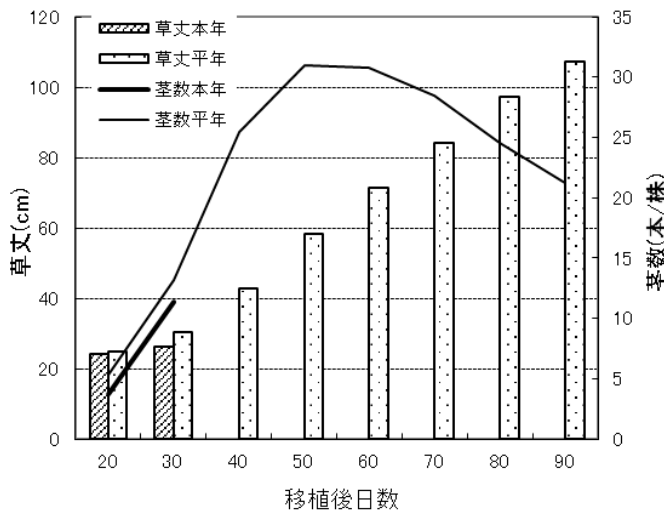
注) 平年値は平成11年～30年の平均(H22を除く)。平年比は%

(2) 本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
20	24.3	24.7	98	3.7	5.3	70	5.5	5.1	0.4	8.7	11.9	73
30	26.4	30.4	87	11.4	13.2	86	7.3	7.0	0.3	40.8	46.9	87

注) 平年値は平成11年～30年の平均(H22を除く)。平年比は%

(3) 生育経過

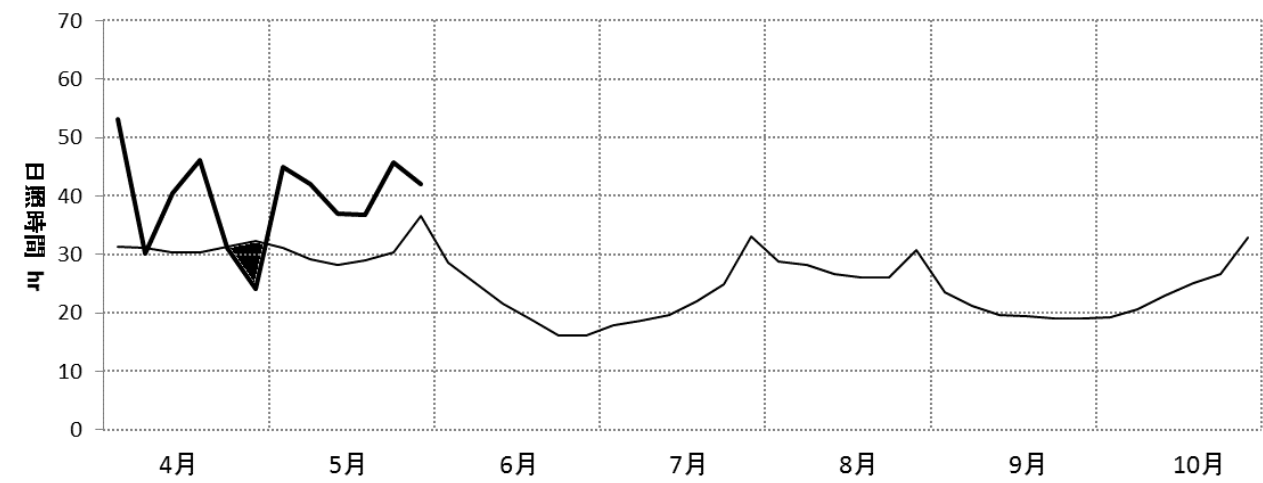
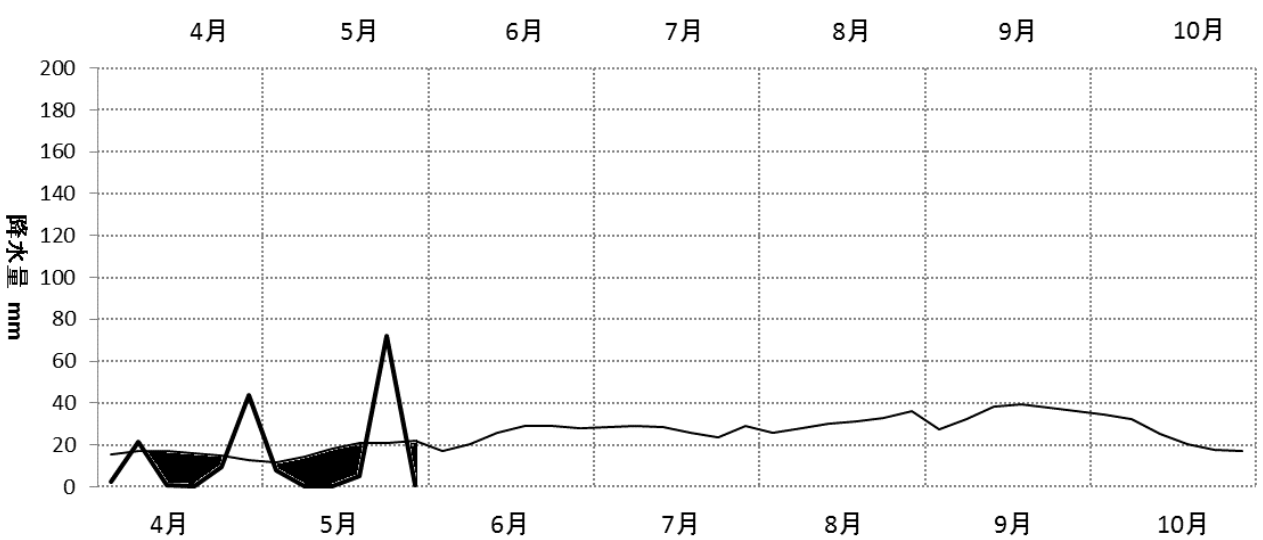
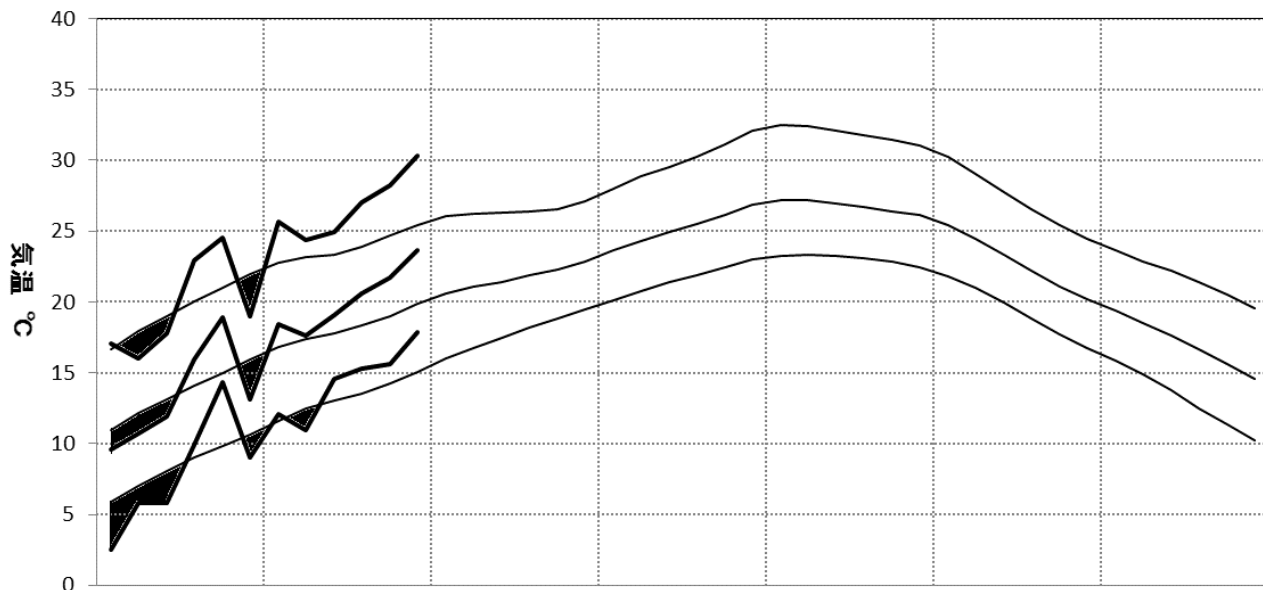


3 早植栽培 (5月20日植 彩のかがやき)

(1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
11.0	13.1	84	2.2	2.1	0.1	1.50	1.40	107	1.36	1.07	1.27

注) 平年値は平成12年～30年の平均。 平年比は%



令和元年夏作期間気象図
 (熊谷気象台日別測定値から作成)